

みんなねっと **福井県かれん新聞** 第102号 (奇数月発行)

事務局 ホットサポートふくい内〒910-0026 福井市光陽2-3-36

福井県総合福祉相談所内 Ⅱ0776-24-5135

1) みんなねっと福井けんかれん 2024年(令和6年)1月1日

* 障がいをのりこえるために

辰

もくじ

- ・ 新年のご挨拶、県家連・家族相談研修会・・・(1)
- ・ 各家族会の活動について・・・(2)
- ・ 同上、報告、ホームページ・・・(3)
- ・ 北信越新潟大会について・・・(4)

新年のご挨拶 福井県精神保健福祉家族会連合会 会長 小寺清隆

賀春 今年、北信越福井研修大会を10月19日(土)に、福井市の織協ビルで開催することになりました。会員、ボランティア団体、行政、医療関係者、施設の方々に、お世話になります。精神保健関係の皆さまの協力、ご支援によって、各県の方々と交流して、有意義な研修会にしたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

県家連 家族相談研修会

日時：令和6年3月16日(土) 10:00~12:00

会場：福井県自治会館 201研修室

福井市西開発 4-202-1 ☎0776-57-1111



講師： 河村直樹 氏 福井県司法書士会企画研修部長・司法書士「

テーマ：成年後見、遺産相続、相談にのるとき

同日 3月16日(土) 9:20~9:50 家族相談研修会の前に

音楽イベント ライブ 粟谷行男氏の予定 9:20 までにおいでください。

2) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2024年 1月1日

各家族会のアンケートより

1 総会について

(こころのサロン芦山会)家族会 家族会参加者と市の課長、丹南健康福祉センター武生福祉保健部企画主査、部長を交えて率直に意見交換の機会になりました。

(つつじ会) 6月4日 来賓7名、会員17名の出席。その後、小寺氏の講演会。

(奥越家族会) 4月17日に開催。本年の計画など。

(悠々福祉会家族会) 6月2日に、会員9名、その他2名が参加して行った。

(あすわ会) 5月28日に実施。その後講演会を実施した。23名と来賓2名。

2 市町への要望書、連携など

(こ) 以前は毎年実施していましたが家族で参加出来る人が少ないため今のところできていない状況です。

(つ) 市福祉課などと連携し、家族会の現状を知ってもらう。

(奥) 大野市、勝山市、大野市社協より補助金、助成金がある。

(悠) 会議や研修会などの場で問題提起などしている。

(あ) 市や他団体との連携に努めている。

3 定例会など

(こ)定例会は毎年4月～3月の第2火曜日の13:30～15:30に開催の他、心の健康相談会、落語会の開催など。

(つ)7月9日に、ラポーゼにてバーベキューを、16名参加で行った。奇数月に例会。

(奥) 毎月、20日に例会を実施している。

(悠)7月、9月、11月の土曜日に実施した。

(あ) 毎月、第2日曜日に実施している。参加者は、10数名である。

4 相談会について

(こ) 家族が困りごとを持っている当事者に寄り添って気持ちを受け止めることができる様に元福井こころの電話、元武生こころの電話会長浦田光寿氏を迎えて「傾聴と共感」について学ぶ。

(つ)学習会、親睦会などで実施。

(奥) 毎月の例会で相談会をしている

(あ) 7月と12月の例会時に、講師を招いて実施した。

5 講演会など

(こ)心の健康相談会を毎月第2、第3土曜日14:00～16:00。プラザで開催。

(つ)3月26日、川口めぐみ先生。16名。

(奥)毎年、2回。

(あ) 総会、新年会の時に実施している。

6 家族会の良い点と問題点

良い点・(こ)・困りごとを持っていても参加して会員同士で意見を出し合うと共感して学ぶ機会になり気持ちが解放され笑顔になれる。(あ)

(悠)新規会員が加わって、良い刺激となり、意見交換が活発化した。

3) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2024年 1月1日

問題点・(こ)・市長への要望書の提出とか家族同士が団結し連携して更に外部の力を借りられると精神障がい者への社会の理解が深まって共生する環境を養う力になる。

(あ) 会員の言動で、困ることがある。

7 その他

(奥) 6月3日、大野市福祉祭りでバザーを行った。

(あ) 9月20日(水)に施設見学と食事会をした。参加者は、10数名。

報告

* 10月27日に、本会が、厚生労働大臣より表彰されました。

* 12月9日(土)、10日(日)にベルで開催されたハートフル文化祭に、実行委員会に加わって、成功に努力しました。

お知らせ

* **北信越福井大会**の 第1回実行委員会

3月6日(水) 13:30～ 福井県総合福祉相談所にて

* **県家連のホームページ** PC やスマホから見られます。

福井県精神保健福祉家族会連合会(けんかれん)



アドレス <https://fukui-kenkaren.com/>

- ・スマホをお持ちの方が多いです。是非、ご活用ください。また、ホームページへのご意見などもお願いします。高齢化、コロナ下で、お会いできない分を、ホームページで補いたいと思っています。
- ・使い方の不明な方は、家族会の世話人、施設の職員など、サポートをしてもらってください。
- ・「つぶやき」など連載しています。皆さんの声も上記アドレスへ投稿してください。

4) みんなねっと 福井県か連新聞 2024年 1月1日

北信越新潟大会について 11月28日(火)に新潟市で開催されました。

バスを借り上げて、福井県から8名で行きました。27日に、晴天だったが、それでも武生から7時間15分かかりました。前泊して、大会参加。帰りは雨、みぞれ、雷もあり、8時間もかかった。運転手さんは健闘してくれました。

大会

1 開会式は、みんなねっと理事長、新潟県連会長、知事代理、市長代理と新潟県社会福祉協議会会長の挨拶があった。

2 みんなねっとの活動報告と各県連の活動報告。

福井県連 小寺清隆

・少子高齢化は、避けることができない。

少子を本気で防ぎたいならば、まず、18歳までの医療費、教育費を無料にすべきだ。

子どもを社会の支援で育てるという姿勢が大事だ。

・高齢化は、防ぐことはできないが、「自分のやれることをする」、そのために健康が土台となる。そのうち、必ず、死が訪れる。

・家族会のメンバーは、例会にでれなくなっても、スマホやPCで福井県家連のホームページを見よう。

3 シンポジウム「当事者・家族主体の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築について」

みんなねっと理事長・岡田久美子氏

長岡市 NPO 希望の会福祉会 理事長 森田直子氏

燕市 燕市 障がい福祉係 主任 西川典芳氏

新潟市 ふらっと施設長 二宮 寛氏

より、報告があった。

高齢者だけでなく、障がい者にも地域包括システムを作ることが大切。

〔感想〕

会場は、50名余の参加者が、熱心に静かに話を聞いていた。新潟県の人が多かった。福井県は8名、石川県は2名。長野県と富山県は各1名の参加だった。オンライン配信は、していたが、会場とオンライン参加者とのコミュニケーションの設備はなかった。

新潟県は、海岸線が300キロもあって、それぞれの家族会の交流は、容易でないと、江口県連会長が、何回も述べていた。北信越5県のみんなが、交流するには、新潟市は遠すぎたようだ。長野県連の都合で、来年度は、福井県で北信越大会をすることになりました。5県の交流が深まるように、新幹線も開通するので、福井県に来ていただきたい。遠くから参加された方が、交流できるような企画をしたいです。 (文責:小寺清隆)